

## IAAL

Institute for Assistance of Academic Libraries

## ニュースレター

アイアールニュースレター

【特集】 IAAL大学図書館業務  
実務能力認定試験

2009

No.3

自由をバックアップする  
地上の管制官

瀬名秀明

**数**年前のことだが、小説執筆の取材を兼ねて単発陸上飛行機のパイロット免許を取得した。

『冒険者たち』という往年のフランス映画があるが、私自身も免許を取るまでは飛行機を操縦することが一種の冒険だと思っていた。先日、デザイナーの八谷和彦さんと公開トークイベントで飛行機について盛り上がっていたところ、司会者から「飛ぶのはどんな感じですか？ 自由への冒険？」と訊かれ、ふたりで顔を見合わせる事となった。確かに一般の感覚では、自由にどこまでも飛んでゆける飛行機はつねに死の危険と隣り合わせで、それはつまり冒険なのだろう。しかしご自身もアート活動の一環として実験飛行機を製作している八谷さんはこう答えた。「いや、冒険じゃありません。飛行機に乗るときはまず安全を考えます。ですから飛ぶのは決して冒険ではないんです」。私もそれに頷いたのだ。

訓練で初めて実感したのだが、パイロットは決して自由気ままに空を飛んでいるのではない。つねに地上の管制機関からレーダーで位置を確認してもらい、無線で相手とコミュニケーションしている。空を飛ぶ自由の背後には、安全をバックアップする管制官がいるのだ。ここが自動車の運転とは決定的に違う。パイロットはそうしたバックアップ体制のもと、万が一事故が起きても最後の最後まで諦めない。同乗者の命を守り抜く。

本を書く行為もそれに似ている。作家は物語やエッセイを書き、読者を大空の旅へと誘う。だから多くの読者は作家自身も勝手気ままに操縦桿を握っていると感じるかもしれない。だが自由と感じるその快適な飛行の裏では、しっかりとしたフライトプランがあり、離陸前の綿密な安全確認があり、飛行中の無線コミュニケーションがあり、雲や風の動きを読む経験と判断力がある。執筆に置き換えるなら、それは小さな描写のために十数冊の参考資料を読み、間違いや誤解のないよう最適の表現を模索することに当たる。だからこそ自由なフライトを読者に感じてもらうためには、信頼できるバックアップ機関が必要だ。

図書館とはつまりそのような機関だと思うことがある。羽ばたくための確かな情報を支えてくれる抛り所だ。実際のGCA(地上管制着陸誘導)とは違って行方不明や墜落のときにレスキュー隊を出動させてくれるわけではないが、ニアミスの警告や安全な着陸への誘導はきちんとしてくれる。ときに急ぎ、空域に不慣れた私たちパイロットにとっては、それが本当にありがたい。読者を最後まで安全に、自由という名を持つ確かな科学技術とシステムの翼に乗せて運ぶことができる。パイロットはGCAの管轄空域を離れるとき、最後に相手と無線でGood dayと言葉を掛け合う。作家と図書館はそんな関係が好ましい。

# IAAAL 大学図書館業務 実務能力認定試験 第1回実施

5月17日(日)第1回のIAAAL大学図書館実務能力認定試験(略称:IAAAL認定試験)が東京、名古屋の2会場で開催されました、本号ではこの認定試験に関する活動を紹介します。

## 【認定試験への取り組み】

IAAALはその活動目的の柱のひとつに『大学図書館職員研修事業』を掲げて、設立より国立情報学研究所での講習支援や依頼を受けた大学図書館での職員研修を行ってきましたが、これらの活動は主に専任職員に対するものでありました。

これに対し本認定試験は、主に現在大学図書館業務を下支えする多くの非専任職員を対象に客観的にその専門能力を評価する機会を設けることで、学習に取り組むきっかけとなったり、職務能力評価のひとつとなり待遇改善の一助となればという趣旨で開始しました。

## 【非専任職員の評価】

非専任職員の評価は所属する大学図書館や受託企業において、それぞれ行われているようですが、その方法は様々です。図書館直接雇用などでは、能力に応じた賃金改訂幅が設定されておらず、試用期間終了後は一律時給で、3年経ったら雇い止めというような例や、受託企業では経験年数が増す毎に10円硬貨が数枚ずつ時給改定される例、職場のリーダーや就労者の相互評価により能力評価がされる例などがあるようですが、いずれも雇用者側の一方的な評価であり、所属団体を超えたどこでも認められる客観的な実務能力指標は現在のところありません。

多くみられる大学図書館での勤務年数での評価は、経験値という意味では最もリーズナブルですが、残念なことに所属する大学図書館や受託企業が変わった場合、積み上げてきた細かい業務毎の評価がリセットされてしまうという就労者側のリスクがあります。また逆に雇用者側も経験年数をたよりに雇用しても、過去の経験年数が求める専門能力とは縁遠く、実力不足であったというケースもあります。

現在大学図書館で就労する際の資格の一つとして司書資格があり、資格保有者は一応の優遇はされていますが、この資格は大学図書館の現場からみて実務に直結する部分は多いとはいえません。また同じ司書資格でありながら取得時期や方法によって、知識レベルに大きな差がみられるため、残念ですが採用評価の一助ではありますが、勤務後の実務能力評価としては効果は薄いと思われます。

## 【認定試験の目的と期待効果】

大学図書館の業務は経験や専門性が求められる部分が非常に多く、一義的にその業務能力を評価するのは困難です。しかし全ての図書館が独自のノウハウだけで運用されている訳ではなく特に資料整理や相互貸借など、つまり国立情報学研究所のNACSIS-CATやILLという全国の大学図書館で共通のルールで運用されている業務は一定の評価が可能な部分です。

本認定試験はこのような全国どこの大学図書館でも業務上通用する共通実務の部分から、客観的な能力評価を行ない、就労者が勤務する図書館や受託業者が変わっても、能力を証明されるようなシステムを構築する事を目的としています。

共通実務の公式な教育の場としては、国立情報学研究所が主催するNACSIS-CAT目録システム講習会などがありますが、これは主にシステムの仕組みを講習するもので、その実務を学習する機会は現場か業者の教育に任されています。基礎理論の学習機会に恵まれないままOJTで業務に流されていた方々が、立ち止まって学習することでより確実な業務能力を身につけ自信をもって業務にあたるようになることが大きな期待効果の一つと考えています。

また併せて、この資格を採用側の評価基準の一つとなるように育てていくことで、流動的な就労環境に置かれがちな多くの非正規職員の評価となり、若干でも待遇が改善されるようになれば、大学図書館を取り巻く人材マーケットにおいて大きな効果となることを強く期待しています。

### 【本認定試験の詳細】

本「総合目録—図書初級」試験は、大学図書館に共通的な業務の一つである総合目録作成業務のうち、図書目録作成業務の基本あたる検索—同一—ヒット図書の所蔵登録に関わる部分を範囲としてい

ます。このため具体的には「総合目録の概要」「各レコードの特徴」「検索のしくみ」「書誌同定」「総合問題」の5分野から構成されています。

### 【今後の展開】

今後、大学図書館に勤務される方の継続的な技能レベルを評価・判断し、技能レベル確保の普及の為、IAAL大学図書館実務能力認定試験の同プログラムを現在のところ次の内容にて認定試験を予定しています。総合目録—図書中級、総合目録—雑誌、利用者サービス、レファレンスサービス、相互貸借（ILL）サービス。本年度、次回の認定試験の案内は事務局通信（裏表紙）を参照ください。



名古屋会場での試験風景

### 【受験者の詳細】

第1回 IAAL大学図書館実務能力試験、受験者総数216名。内合格者112名（合格率52%）勤務形態、NACSIS-CAT経験年数については、以下の通りです。

勤務形態			合格者
大学正規職員	18名	8%	67%
企業正規職員	33名	15%	67%
非正規職員	144名	67%	46%

NACSIS-CAT 経験年数			合格者
4年以上	99名	46%	79%
2-3年	32名	15%	44%
0-1年	85名	39%	24%

# 「総合目録—図書初級」

## 問題例集 <抜粋>

### I. 総合目録の概要

まずは総合目録データベースに関する基本的な知識を問う問題群です。

知らなくても日常の業務に支障はないかもしれませんが、総合目録データベースを扱うカタログガーとして常識に属することがらです。ぜひ覚えておきましょう。各問の文章が正しいか誤りかを○×で答える問題です。

#### 問8

NACSIS-CATの参照ファイルのレコードは、総合目録データベースの書誌レコード、典拠レコードとリンクしている。

#### 問27

NACSIS-CATの検索は、検索の際入力した検索キーと、登録されているデータから自動的に切出されたインデックスを照合し、その結果一致したレコードが表示される仕組みとなっている。

### II. 各レコードの特徴

この分野では、書誌レコード、典拠レコード、所蔵レコードの、各レコードに関する知識を確認します。各問の文章が正しいか誤りかを○×で答える問題です。

#### 問35

下記の図書の子書誌レコードの本タイトルは「作家・作品 A-F」である。

フランス文学研究文献要覧 杉捷夫 [ほか] 編

第2巻 作家・作品 A-F

(20世紀文献要覧大系；11. 外国文学研究文献要覧4)

#### 問45

上下2冊からなる書誌レコードに同じ配置コードの所蔵を登録する際、1つの所蔵レコード内にVOLフィールドを繰り返して記録する。

### III. 検索の仕組み

この分野では、NACSIS-CATにおける検索の仕組みについての理解度を確認します。

問27にもありましたが、インデックスがどう切り出されているのかがわからないと、そもそもヒットするはずの無い検索キーで検索しているにもかかわらず、ヒットしないからノーヒットだ、と誤って認識したり、より少ないノイズで検索できるキーがあるにもかかわらず、山のようにヒットした結果から求める書誌を1つずつ開いては確認するなど、効率の悪い検索を行う羽目になってしまいます。

検索キーが何であれ、ヒットしなかった場合には、検索漏れをなくすために念のため何度も検索キーを変えて検索しなければならないことはもちろんです。が、そうであっても、下手な鉄砲・・・ではなく、プロのカタログガーなら効率の良い検索方法を身に付けたいものです。各問の文章が正しいか誤りかを○×で答える問題です。

## 問52

TRフィールドに「バレー」を持つ資料を検索する場合に、「TITLE=バレー」は正しい検索キーである。

## 問57

H.C. ミシコフ著、森田良民訳「人工知能のビジネス・トレンド」(啓学出版,1987)を検索する場合、「TITLE=ビジネストレンド」は有効な検索キーである。

## IV. 書誌同定

この分野では、検索して返ってきた結果について、求める書誌であるかどうかを同定する力を確認します。

本来別書誌であるべきものに所蔵登録をすると、別の資料を所蔵していることになりすし、同一の書誌で良いのに別書誌を作成してしまうと重複書誌を作成することになってしまいます。

●77から78に挙げる項目のうち、他の情報がまったく同じである場合、同一の書誌と考えてよい場合は○、そうでない場合は×としない。

## 問77

初版と改訂版

## 問78

第1刷と第5刷

## V. 総合

IからIVまでのそれぞれの知識はもちろん大切なのですが、実際に仕事の現場に必要な技術を問うためには、情報源から正しい情報が読み取れるかどうかを確認する必要があると考えます。そこで「総合」として実務に近い場面での設問を用意しました。

なお、表示に使用した書誌はWebcatのもので、ふだんお使いのクライアントによって表示の仕方が異なりますので、特定のシステムに偏らないように、との配慮からです。

出版者のうしろ、出版年との区切りの「,」の前にスペースが無いことに気が付かれましたでしょうか。これはISBD(国際標準区切り記号)の仕様です。NACSIS-CATでは、「外務省,2002-」のようにスペースが入ります。

図3の図書の説明文で正しいものは○、そうでないものは×としない。

## 問91

タイトルでの検索キーとして「光と磁気 改訂版」は有効な検索キーである。

## 問93

この図書の所蔵レコードを登録するのは、次の書誌レコードである。

現代人の物理 〈ゲンダイジン ノ ブツリ〉.-- (BN02171917) 東京:朝倉書店



※各問題例の解答と解説は次頁をご覧ください。

## 解答と解説

### > 問 8

**正 解：×**  
**正答率：82.9%**

総合目録データベースの書誌レコードは、書誌レコード（親書誌）、著者名典拠レコード、統一書名典拠レコード、所蔵レコードとリンクしています。しかし参照ファイルのレコードは、どのレコードともリンクしていませんし、リンクを張ることもできません。このことが参照ファイルのレコードの特徴の1つになっています。

（「目録システム利用マニュアル（以下「利用マニュアル）」）  
3.1 参照ファイルの種類）

### > 問 27

**正 解：○**  
**正答率：86.1%**

これがNACSIS-CATの検索の基本です。

インターネットの検索サイトのような全文検索では、ある語句を検索キーとして検索すると、その前後にどのような文字があるものもヒットします。しかしNACSIS-CATの場合はインデックス検索ですので、あらかじめ切り出されたインデックスに存在しないキーでは検索することができません。

そのため、どのようなインデックスが切り出されるのか、その仕組みを理解する必要があるわけです。  
（「利用マニュアル」2.7.2 検索用インデックス）

### > 問 35

**正 解：×**  
**正答率：88.9%**

子書誌は単行書誌単位で作成されます。そしてこの「書誌単位は、固有のタイトル、著者等によって書誌的に他と

区別できる単位」ですので、子書誌レコードの本体タイトルが何であるかを考える場合、固有のタイトルはどれか、著者等によって書誌的に他と区別できるか、を考えます。

上の例ではもっとも下位の概念は「A-F」ですが、これは「目録情報の基準」によりますと「巻次等」であり、固有のタイトルではありません。そして巻次はVOLフィールドに記入すべきものですから、本タイトル（の一部）ではないと考えられます。

（「目録情報の基準（以下「基準）」）4.2.3 図書書誌レコードの作成単位）

### > 問 45

**正 解：○**  
**正答率：86.6%**

所蔵レコードは、1つの参加館の1つの配置コードごとに1つだけ作成することができます。したがって、上下2冊の所蔵登録をする場合は、同じ所蔵レコードの中で、VOLフィールドを繰り返して登録することになります。

クライアントによってはVOLごとに別レコードであるかのように表示されるシステムもあるかもしれませんが、NACSISにおいては1レコードとして扱われています。

（「基準」2.3.2 所蔵レコード）

### > 問 52

**正 解：×**  
**正答率：83.3%**

検索用インデックスは切り出された後正規化されます。「かな」に関するものでは、ひらがな、小さな「ア」「ツ」などの拗音促音、半角、これらは全てカタカナの全角で、小さな文字も大きく変換されます。また、長音の「ー」は削除され前後が詰められます。したがって、例えば「ぎゃーとるず」からは「ギヤトルズ」というインデックスが作成されることとなります。さらに、検索キーとして入力した語句も同様の変換が行われてインデックスと一致するかどうか調べられます。

さて、この問題にある「バレー」という語句からはどのようなインデックスが切り出されるでしょうか。すべて全角大文字カタカナで、長音を削除して詰めるのですから、「バレ」となりますね。

では検索キーはどうでしょうか。「バレエ」の「エ」は、音としては長音ですが、長音記号ではなく通常の文字ですので、特に変換されることはなく、「バレエ」のままです。

インデックスの「バレ」と検索キーの「バレエ」は異なる文字列ですので、ヒットしない、すなわち正しい検索キーではない、ということになります。

(「利用マニュアル」2.7.2 検索用インデックス ■キーワード  
2 切り出した文字の変換(正規化))

## > 問 57

**正 解：×**  
**正答率：86.6%**

検索キーとしてカナを入力した場合は、ヨミにヒットするケースと漢字部分にヒットするケースと両方を考えなければなりません。

まず、ヨミの検索用インデックスがどうなっているかを考えてみましょう。

問題の、「人工知能のビジネス・トレンド」のヨミは、「ジンコウ チノウ ノ ビジネス・トレンド」となっているはずですが、そしてこのヨミから切り出されるインデックスは、「ジンコウ」「チノウ」「ノ」「ビジネス」「トレンド」です。この中には「ビジネストレンド」はありませんので、少なくともヨミにはヒットしないということがわかります。

それでは漢字部分はどうでしょうか。

タイトルの漢字部分は、全体で1つのインデックスができませんが、その際中黒(「・」)などのデリミタがあるとそこで分割されますので、「人工知能のビジネス」「トレンド」というインデックスが切り出されます。また、ヨミの分かちに対応して漢字部分も分割されるので、「人工」「知能」「ノ」「ビジネス」「トレンド」というインデックスが切り出されます。

これらのインデックスには「ビジネストレンド」という文字列は含まれていませんので、これは有効な検索キーではない、ということになります。

(「利用マニュアル」2.7.2 検索用インデックス ■キーワード  
1 語の切り出し)

## > 問 77

**正 解：×**  
**正答率：94.4%**

## > 問 78

**正 解：○**  
**正答率：94.9%**

図書書誌レコードは、各版毎に別の書誌レコードを作成します。これに対して、刷の相違だけを根拠に別書誌を作成することはせず、必要があれば所蔵レコードに記録することになっています。

所蔵登録する場合は、これらの情報の有無・異同もきちんと確認し、本来別書誌であるべき書誌に所蔵登録をしないように注意しましょう。

(「基準」4.2.3 図書書誌レコードの作成単位)

## > 問 91

**正 解：×**  
**正答率：81.5%**

この本のタイトルとして「光と磁気」は良さそうですが、その後に「改訂版」が続いていますね。

この「改訂版」は版表示であり、EDフィールドに記入されています。したがって、タイトルでの検索キーとして「改訂版」という語句を入力してもヒットしません。

(「利用マニュアル」2.2.8 図書書誌レコードの詳細)

## > 問 93

**正 解：×**  
**正答率：86.1%**

所蔵レコードは、単行書誌単位のレコードに対して作成するものです。この例の図書において「現代人の物理」はシリーズ名であると考えられ、親書誌レコードとしてリンクされているはずですから、この親書誌レコードに所蔵登録することは誤りです。

(「基準」5.2.2 図書所蔵レコードの作成単位)

# 神田外語大学 Self-Access Learning Centre (SALC)

ジョー・マイナード (SALCディレクター)

## はじめに

神田外語大学のSelf-Access Learning Centre (SALC) は、1万点以上の図書、雑誌、ワークシート、DVD・MD・CDを所蔵し、学生に多様なサービスを提供しています。また、オンラインの情報資源についても、充実を図っています。

資料の多くは市販のものであり、自立学習に適した教材となっています。それらの資料は、学習者の興味を引きやすく、手に取りやすいものであり、自立学習が出来るよう、必要であれば解答がついています。市販教材の中には、自立学習という概念に沿うように形態を変えて学習者に提供するものもあります。たとえば、出版社の許諾をえたうえで、書籍を分割してラミネート加工のワークシートにすることができれば、その教材はより探しやすく使いやすくなるのです。その他に、センターのオリジナル教材もあり、これらは教材開発チームとデザインチームによって作られています。神田外語大学の学生や、授業に合わせて開発している為、これらの自作教材は有益なものとなっています。

資料を利用しやすくするためのもう一つの工夫は、学習者が資料を探しだし、利用することを効果的に手助けするための補助教材、つまりガイドづくりです。たとえば、Learning with Movies (映画を利用して学習をする) というセクションでは、一連のワークシートで映画のような生きた教材を効果的に使えるような学習方法を紹介しています。

またSALCは、学生たちが自立的な学習者となることを手助けします。新入生の多くは、自分の学習に自分で責任をもつことについて慣れていません。よってSALCは、学習に自己責任をもつことをいくつかの方法で手助けしています。

## レイアウト

伝統的な図書館と異なり、SALCのレイアウトは語学学習者の視点からデザインされたものです。よってDDCのような図書館分類に従った資料組織化の代わりに、語学スキルの領域に従った資料配列としているのです。たとえば、文法のセクション、リーディングのセクション、語彙のセクションといったようになるのです。スーパーマーケットと似通った方法で、それぞれのセクションには明瞭なサインを示しています。

各セクション内では、学生たちが学習の焦点を絞り込むこ

とができるよう、サブ・セクションを設けています。たとえば、「Oral Communication」のセクションには、発音、流暢性、コミュニケーションスキルのようなサブ・セクションがあります。

また資料には、難易度に応じたラベルを付けています。入門者・初級・中級・上級・ネイティブ向けテキストという5つの語学熟達度があり、資料には色分けしたステッカーで明瞭にラベル分けしているのです。ガイドラインとしては、これらのレベルはKEPT (Kanda English Proficiency Test : 神田外語大学英語運用能力テスト)のスコアと関連しているのですが、学生には資料が自分に適正なレベルかどうか自分自身で決めるつもりで、テキスト見本を調べるよう奨励しています。また利用者はめったに使うことはありませんが、SALCデータベースで資料の管理をするために、各資料にはナンバリングしています。学生は、書架をブラウジングすることで教材を探し出すことができますし、データベースを検索して探し出すこともできます。新入生には、オリエンテーションを通じて、SALCの多様な特色を紹介しています。

利用者が容易に資料を探し出すことができるように資料を明瞭にレイアウトし、注意深くラベル付けしていても、中には本当に自分が必要としているのがどの資料なのか、特定するためのサポートを必要とする学生もいます。この場合の出発点は、学生がどのような学習を求めているか、そして学習上の最も重要な焦点は何なのかを特定するためのサポートを行うことなのです。さもないければ、学生たちは困惑してしまうのです。私たちは、SALCアドバイザーサービスと任意のモジュールにより、そのサポートを行っています。



## アドバイザー

現在SALCには、8名のラーニング・アドバイザーが勤務しています。全員がTESOLの修士号を取得しており、語学教員としての勤務経験をもっています。現在のラーニング・アドバイザーは、オーストラリア、日本、英国、カナダ、ジャ

マイカの出身者で、日本人に英語を教授した経験をもっています。学生は、SALCでどのラーニング・アドバイザーとも気軽に会話をすることができますし、ラーニング・ヘルプ・デスクを訪ねたり、予約をして学習上のあらゆる問題について相談することができます。ラーニング・アドバイザーは学生の声をよく聞き、注意深い質問を通して学生が学習目標や学習するエリアを絞り込むための手助けをするよう教育されています。その後アドバイザーは目標達成のために学習内容や教材を選ぶための支援を行います。これは学習上の嗜好や興味、動機となった要素を引き出す、個人個人に合わせたプロセスです。学習者がなにをすべきかを教えるのではなく、むしろ学習者が自身の道を管理するためのサポートをすることを焦点としています。

## モジュール

SALCモジュールとは任意で行われる自主学習パッケージです。いくつかのモジュールは、単位にプラスされます。最も人気のあるSALCモジュールは、新入生向けのFirst Steps



Moduleというものです。このモジュールは8週間をかけて行われ、期間中、学習者は毎週学習アクティビティを行い、自立的な学習者となるためのさまざまな学習法に関連した考察的な日誌を記入することになります。学習法の中には、ニーズ分析、学習スタイル、モチベーション、時間管理、教材や自己評価などのテーマがあります。毎週、学生は学習日誌を担当のラーニング・アドバイザーに提出し、アドバイザーはコメントを付けて返却します。最終的には、毎週の活動成果をまとめて一冊にして、さらに8週間の自主学習プランを立てることになります。

他のモジュールでは、その学習プランをスタートポイントとしており、ラーニング・アドバイザーはSALCの教材を使って、学生自身の8週間の自主学習コースをデザインすることをサポートします。学生は毎週、自分たちが何を行い、どのように学習し、どのように教材を使い、どのように自己評価を行い、いかに学習活動を効果的と感じたかという記録を日

誌に書き込むのです。

## 実践の機会

SALCのもう一つの強みは、ELI (English Language Institute)ラウンジと一体になって、入りやすい空間の提供、そして他の学習者、クラス教員、ラーニング・アドバイザーと語学の実践的な利用が出来る機会を提供していることにあります。学習者が自身のニーズと有用な教材を見つけたのには、その言語を学び、そして身に付けるために言語を「使う」ことを勧めています。これはELIラウンジでの気軽な会話を通じてや、スピーキング・ブースで音声や会話を録音することにより、学習パートナーを見つけ一緒に学習することにより、または教員とプラクティスセンターで個別のやりとりを通して提供されます。SALCを利用するかしないかの選択肢は、学生に委ねています。授業を受けるのとは違い、自身がSALCに来ることを選んでいるのです。

本稿では、資料のレイアウトとアドバイジング・サービスの説明を中心に、SALCのいくつかの特色を概観しました。2001年の設立以来、継続的な研究と評価にもとづきサービスの強化をつづけてきました。近い将来、新たなサービス開発も計画しています。たとえば、現在TOEICやTOEFLなどの学外テストを受験する学生たちを支援することに特化した、新しい自主学習モジュールを開発しています。常時アクセスできる学習教材と学習コミュニティを提供するために、オンライン学習も拡充していきます。ラーニング・アドバイザーは、学生たちに提供するサービス向上のために、不断に知識とスキルを向上させています。より詳細な情報を知りたい方は、どうぞ著者にご連絡いただくか、SALCのウェブサイトをご覧ください。



## SALCウェブサイト

URL:<http://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/salc/>

(日本語訳：IAAL事務局)

## IAALの視点

SALCは伝統的な図書館ではありませんが、学生の学習支援を中心としたライブラリーであり、優れたラーニング・commonsであると考えています。

学習者の視点に立った資料レイアウトとサイン、充実したアドバイザー制度、自立的な学習者を育てる教材と

指導、実践的な学習環境の整備などには、大学図書館のこれからの学習支援サービスを考える上で、数多くのヒントがあると思います。自立的・自主的な学習者を育てるというSALCの目的は、大学における情報リテラシー教育の目指すところと同一のものであるからです。

# IAAL教材 「大学生のレポート作成法」(2)

## 〈活用法紹介〉

text\_ IAAL事務局

### ねらい

IAAL教材「大学生のレポート作成法」は、大学図書館の講習会や大学の導入教育での活用できるものとして開発しました。

この種のレポート作成に関する書籍は、近年数多く刊行されており、良質のものも沢山あります。しかし、講習会や授業の中で学生に説明したり、自習用の資料として配布するにはPowerPoint形式の教材の方が機能的であると考え、独自教材として作成しました。

情報リテラシー教育を担当する図書館員や学生スタッフのスキルアップ資料としても、活用できる内容となっています。

### 活用法

#### (1) 団体会員の場合

- PowerPointファイルの複製利用（複製権）、講習会での利用（上演権）、配布資料としての頒布（頒布権）は、団体（機関）内であれば可能です。
- 講習会や授業、スタッフ教育のプレゼン資料・配布資料としてご活用ください。
- 機関内の公開ウェブサイトなど、無料・無条件で入手できる場所には、掲載しないでください。

- PowerPointファイルは読み取り専用です。
- 一部改変して2次的著作物を作成するなどの場合は、あらかじめIAALの許諾をとり、書き換えできるファイルを入手してください。

#### (2) 個人会員の場合

- 個人としては、著作権を侵害しない範囲で、自由に利用可能です。
- 機関内の講習会などで利用する場合は、機関として団体会員となった上で利用してください。

IAAL教材「大学生のレポート作成法」は、順次改訂するとともに、あらたな内容の部編を継続刊行する予定です。新刊の案内もご期待ください。

#### IAALでは 会員を募集しています

■ 正会員	年会費	10,000円
■ 会員団体	年会費	30,000円
■ 会員賛助	年会費	3,000円

《会員募集情報はこちらへ》



<http://www.iaal.jp/>

「省略するのが、しないのか…」

NACSIS-CATにおいては、同じ役割の責任表示が複数表示されている時、それが4以上の場合には1つだけを記入、他は[ほか]として省略する、というのはよく知られた規則ですが、実はそうでない書誌もNACSIS-CATにはあり得ます。そもそもこの省略は、「4以上の場合には、主たる名称、あるいは最初に表示されている名称一つだけを記録し、他は[ほか]の語を補記して、省略することができる」(CM2.2.1 TR F3.4。傍点筆者)という表現になっており、必ず省略しなければならないというものではありません。

しかも、「ただし、参照レコード等からの流用入力を行う際は、…(中略)…本則どおり、「一つの責任表示に記録する個人名や団体名の数」は「2まで」とすることができる」という例外も認められています。

つまり、和図書の場合には、同じ役割の著者名が4以上だったら、①1つ以外は省略するという記述のほかに、②4以上でも省略しない、③3でも省略する、という合計で3パターンがあり得るのです。

さらに和図書の場合には、「省略された責任表示はNOTEフィールドに記録する」とありますので、省略した著者名はNOTE注記に記入しなければなりません。

それでは、洋図書の場合はどうなっているのでしょうか。

洋図書の場合は、4以上の場合は最初の1つだけを採用し、他は省略する事になっており、流用入力の際の例外に関する記述もありません。よって、4以上の場合だけ、かつ必ず省略する事になります。また、和図書のように省略した著者名をNOTE注記に記入するという規定もありません。

NACSIS-CATでは和図書だけ、採用する人数に幅があって、省略された責任表示をNOTE注記に記入する、ということになっているのですね。

(IAAL事務局：K生)

## IAAL 大学図書館業務実務能力認定試験 第2回「総合目録－図書初級」実施

現在大学図書館の業務は、様々な雇用形態の職員により支えられています。IAAL が実施する認定試験は、これらスタッフの方々の実務能力を評価する指標となることを目指しています。

今回実施する「総合目録－図書初級」では、NACSIS-CAT を正確かつ効率的に検索し、所蔵登録ができる能力があることを評価します。

日 時：2009年11月15日(日) 午後  
場 所：東京会場【TKP虎ノ門ビジネスセンター】  
大阪会場【TKP大阪梅田ビジネスセンター】  
受付期間：2009年8月17日(月) から  
2009年10月15日(木)まで(必着)



### 東京会場

#### TKP虎ノ門ビジネスセンター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-12  
虎ノ門ビル  
TEL：03-3519-6533



<http://tkptora.net/access/>

#### アクセス

東京メトロ銀座線「虎ノ門駅」徒歩1分  
東京メトロ日比谷線「霞ヶ関駅」徒歩2分  
都営三田線「内幸町駅」徒歩4分

### 大阪会場

#### TKP大阪梅田ビジネスセンター

〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島5-4-21  
TKPゲートタワービル  
TEL：06-4797-6610



<http://tkpumeda.net/access/>

#### アクセス

JR「大阪駅」・阪急「梅田駅」・阪神「梅田駅」・  
地下鉄四つ橋線「西梅田駅」の地下街を通り、  
6-2番出口出でます。  
JR線「福島駅」徒歩2分 阪神線「福島駅」徒歩5分  
JR東西線「新福島駅」徒歩5分

詳しくは当法人ホームページをご確認ください。

<http://www.iaal.jp>

#### スタッフ 紹介

7月よりIAAL事務局となりました高橋喜代です。  
皆様と大学図書館の可能性を考え、活動に参画していただけるよう  
事務局として頑張ります。宜しくお願いいたします。

#### > COVER



神田外語大学SALC  
(P7記事参照)